



認定特定非営利活動（NPO）法人 柔道教育ソリダリティー

Newsletter vol. 19

Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①柔道教室開催（ロシア・ウラジオストク） ②サニックス旗福岡国際中学生大会交流会（福岡県・宗像市） ③リサイクル柔道衣で練習（ブータン・ティンブー）
④柔道指導（アメリカ・アナポリス） ⑤塾友杯少年柔道大会（東京・武蔵野市） ⑥コーチングセミナー2015（東海大学）

国際的な柔道の普及、「自他共栄」を実現するために

—To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

オリンピックスポーツとして世界の多くの人に愛好されている柔道。国際柔道連盟(IJF)には、201の国と地域が加盟しています(2015年度現在)。本法人は、講道館柔道創始者、嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えています。

柔道を通して日本の心を伝え、様々な国との文化交流に役立てたい

—We communicate the Japanese spirit.

現在の国際情勢を考えると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差拡大、人口増加など問題が山積みです。そんな状況の中、多くの発展途上国では柔道指導者、柔道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。本法人は支援活動を展開し、柔道を通して日本の心を伝え、多くの国、地域との文化・スポーツ交流を推進します。

今、大切なことは、子どもたちをいかにして育てていくか

—Educate youth through judo.

本法人は、柔道を通して人間教育を実践します。特にこれからの社会を担っていく青少年の育成は、何よりも重要です。柔道によって、元気で明るく、たくましい子どもたちを育て、その輪を広げていきます。

※柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日、神奈川県から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。



特定非営利活動法人(神奈川県認定)
柔道教育ソリダリティー

認定特定非営利活動法人

柔道教育ソリダリティー会報第19号

2016年4月1日発行 Published 1st of April 2016

発行人: 山下泰裕

発行所: 特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa

Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 19

<http://npo-jks.jp>

柔道 友情 平和

検索

会員・サポーターの集い「1年を振り返って」より抜粋

小さなNPO法人だからこそ出来ることを



会員・サポーターの集いで語る
山下理事長

日頃から、柔道教育ソリダリティーをご支援いただき誠にありがとうございます。本法人は、皆様の会費、ご寄付で成り立っているNPO法人であり、今年度もこうして活動をご報告できることを嬉しく思っております。

さて、2006年に立ち上げた本法人は、今年で10年目を迎えました。今では、立ち上げ時よりも多くの方々からご理解とご支援を頂き、様々な活動に取り組むことができ感無量の思いです。活動の中には、本来ならば我々のような小さなNPO法人が対応する課題ではなく、日本の柔道界が総力を結集して取り組む課題もあったと思います。しかし、そうした課題に対しても、多くの柔道関係者の力を得て、なんとか推進していくことができました。重ねて御礼を申し上げます。

ところで、全日本柔道連盟では、2013年8月に宗岡正二会長が新たに就任され、私も副会長として改革に取り組んで参りました。2015年4月には、ガバナンスやコンプライアンスの改革が進み、全柔連としても国際交流活動にエネルギーを注げるようになりました。

そうした中で、全柔連の副会長と本法人の理事長を兼任する私の立場から、利益誘導などの誤解が生じないよう、柔道教育ソリダリティーとしては、全柔連の国際交流活動で陰になって側面から支援している部分もあるということをご承知いただければと思います。今後は全柔連としても、柔道だからできる国際貢献、社会貢献が広がって参ります。私はそれぞれの立場から、どちらも合わせて頑張っていきたいと考えております。

我々は小さなNPO法人です。出来ることは限られております。一方で、全柔連は改革を重ね、様々な活動を通して社会の信頼を回復し、柔道だからこそできる社会貢献に取り組んでいくと思います。しかし、やはり全柔連でも出来ない活動もあるでしょう。そうした活動を本法人が、これからも皆様のご支援をいただいて展開していきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

主な活動 (2015年7月～2015年12月) - Major Activities -

月 日	事 業 内 容
2015年7月14日・29日	柔道体験教室を開催(東海大学)
2015年7月21日～8月8日	望星学塾「国際親善週間」を支援(東京都・武蔵野市)
2015年7月22日～27日	日中友好青島柔道館の子どもたちが来日、宮城県を訪問(宮城県・登米市)
2015年8月22日～26日	望星学塾「Camp Bosei」を支援(カナダ・トロント)
2015年9月	リサイクル柔道衣がブータン・ジンバブエ・常総市の石下道場に到着
2015年9月15日～23日	山下理事長・浅井ロシア交流担当をロシア・ウラジオストクに派遣
2015年10月12日～23日	ボランティア学生をアメリカ・ワシントン大学及びアナポリスへ派遣
2015年11月1日～12月2日	パレスチナよりサイモン選手を受入れ(東海大学等)
2015年11月8日～12月7日	8カ国より柔道指導者を招へいし、コーチングセミナー2015を開催(東海大学等)
2015年11月15日～12月15日	ガーナよりエマニュエル選手を受入れ(東海大学等)
2015年11月29日	第7回中郡柔道研修大会を支援(神奈川県・大磯町)
2015年11月30日	「会員・サポーターの集い」を開催(東京・千代田区)
2015年12月6日	Rusty Kanokogi Memorial 第35回塾友杯柔道少年大会を共催(東京・望星学塾)
2015年12月21日～27日	イスラエル・パレスチナ・チェチェンの中学生を招へい(福岡県・宗像市等)

1. イスラエルのザヒ氏とパレスチナのカラバニ氏
2. 外務大臣表彰を受賞した中日友好青島柔道館の徐殿平館長と王華さん
1. Israel's Tzahy Nahum and Palestinian Kalabani.
2. Xu Dianping, director of the Japan-China Judo Friendship center in Qingdao and Ms. Wang Hua receiving a commendation from the Minister of Foreign Affairs.

1



柔道用具（リサイクル柔道衣・畳）支援事業

リサイクル柔道衣が4カ国に届きました！



ブータン

Bhutan

2015年2月及び7月にブータンに送付したリサイクル柔道衣150着が、首都ティンブーに届きました。現地でJICA青年海外協力隊として活動を行う堀内芳洋氏を通して同年9月に子どもたちに贈呈されました。



JICA青年海外協力隊 堀内芳洋氏

2015年9月に行なわれた「日本週間」というイベントの冒頭で、送っていただいたリサイクル柔道衣の贈呈式が行われました。さらに12月、東京学芸大学柔道部と柔道教育ソリダリティーの皆さまから寄贈していただいた柔道衣が私たちの道場に到着しました。

ブータン王国はヒマラヤの山麓に位置し、壮大な自然に囲まれた国です。私たちの道場がある首都ティンブーの標高は約2,300mで、富士山の五合目と同じくらいの高さがあります。ブータンは、強くしなやかな個性を持った国です。世界で唯一チベット仏教を国教とし、国の豊かさを経済成長の度合いではなく、国民の幸福量を指標として追求するという概念を掲げ、伝統的な文化や人々の考え、自然環境に配慮した政策の発案と実現に努めています。この概念は2011年11月にブータン国王と王妃が来日された際に話題となり、とても有名になりました(国王夫妻は、講道館も訪問されました)。

そんなブータンの柔道の歴史は、5年程しかありません。しかし、道場の近所に住む子どもたちを中心に少しずつ広まり、今では15校以上の学校から生徒が集まるようになりました。増えていく生徒の数に柔道衣の数が追いつかず、襟や裾が擦り切れ、短くなった柔道衣を着ている子どもたちもあり、日本から柔道衣が届くことを心待ちにしていました。

現在のところ、国内に道場は一つしかありませんが、新たな道場をつくる計画も進行中です。今回いただいた柔道衣はこれからブータンで大切に使われ、柔道の普及に大いに役立っていくと思います。



石下道場

Ishige Dojo

2015年9月の鬼怒川決壊により被害を受けた常総市新石下地区の石下道場にリサイクル柔道衣50着を贈呈しました。

常総市体育協会 石下柔道部 秋田俊勝監督



この度は、多大なご支援をいただきまして誠に有り難うございました。柔道衣を頂戴しました子供たちが感謝の気持ちとしてメッセージボードを作成しましたので送付させていただきます。よろしくお願いいたします。



ブラジル

Brazil

2014年7月に送付したリサイクル柔道衣100着のうち25着が、2015年12月にブラジルの柔道家の手に渡りました。Sport for Tomorrow (SFT)への事業協力です。



2015年12月、後発地域で行われたチアゴ・カミロ柔道スポーツ協会昇進式にて、柔道衣が贈呈されました。式は、在サンパウロ日本総領事館が開催し、中前総領事が子どもたちに柔道衣を贈呈しました。

贈呈式に参加したチアゴ・カミロ会長は、「柔道衣を通じた心のおくりものは、我々の人生を改革し、柔道家としての正しい生き方を整える一歩になるものと考え」と感謝の意を述べられました。今後は、サンパウロ州柔道連盟及びブラジル講道館柔道有段者会を中心に柔道衣を配布して行く予定です。



ジンバブエ

Zimbabwe

2015年4月にジンバブエに送ったリサイクル柔道衣50着が、同年9月に首都ハラレ市に到着し、JICA青年海外協力隊の金盛友彦氏を通して贈呈されました。



ジンバブエ柔道協会 デビ・ジーンズ会長

ジンバブエ柔道協会を代表し、柔道衣を寄贈していただいたことに深く感謝いたします。我々は免税証明書を取得する為に、非常に時間がかかりましたが、全ての柔道衣が我々のオフィスに届きました。

ジンバブエの現在の厳しい政治状況下では、ほとんどの柔道家は道衣を購入することが出来ず共用で使用しています。貴法人の暖かいご支援が、多くの柔道家への練習環境改善に繋がりました。ありがとうございます。貴法人の益々のご発展と、柔道の精神が広まり友情を育むことを願います。

JICA青年海外協力隊 金盛友彦氏

この度はジンバブエ柔道協会の為に、ご支援をいただきありがとうございます。当地では政府からスポーツに対する援助がなく、貴法人からの支援に柔道協会一同、深く感謝しております。寄贈いただいた柔道衣は、先日首都ハラレ市内の柔道クラブで寄贈式を行い、ジンバブエ柔道協会へ受け渡しました。柔道協会の管理の下、大切に使用させていただきます。貴法人の深いご理解とご協力、関わって下さった皆さまに、深く感謝申し上げます。この支援が、2020年東京オリンピック・パラリンピックの懸け橋となり、また、ジンバブエ柔道協会の更なる発展を願い、貴法人へのお礼、ご挨拶とさせていただきます。

講演会・シンポジウム事業

会員・サポーターの集い

2015年11月30日、東京都千代田区アルカディア市ヶ谷(私学会館)にて、2015年度「会員・サポーターの集い」を開催しました。

Annual gathering of members and supporters on November 30th 2015 Tokyo Chiyoda, Arcadia Ichigaya (Private school hall).



100名以上のサポーターの皆さまが参加



山下理事長が修了証書を贈与しました

2015年11月30日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷(私学会館)にて、「会員・サポーターの集い」を開催しました。

始めに、橋本副理事長より開会の挨拶がありました。その後、山下理事長より「1年を振り返って」の演題で2015年の本法人の活動を報告しました。4カ国に200着送ったりサイクル柔道衣、全柔連により送付した量400枚についての協力、中国青島及び南京に派遣した一般指導者、アメリカ・アナポリスに派遣したボランティア学生について、ロシア、イスラエル、パレスチナ、アラブ首長国連邦などとの交流事業について報告しました。また、2015年9月に、日中友好青島柔道館が外務大臣賞を受賞したこと、日中友好南京柔道館との毎年続いている交流を話し、多くの国との繋がりが深くなっていていることを話しました。国内の青少年育成事業について、福島復興支援の大会を支援すること、継続的に日本の青少年柔道大会等を支援していることを報告しました。

続いて、コーチングセミナー2015で指導を行った光本健次国際担当師範が9カ国より参加した研修生の紹介を行いました。研修生たちは、3グループに分かれ、1カ月間に及んだ日本での研修の成果報告を日本語を使いながら発表しました。その後、コーチングセミナーの修了式を開催し、山下理事長が修了証書と柔道教材などの記念品を贈呈しました。セミナーに参加したイスラエルのザヒ氏は、「自分の国では行っていない多くの指導方法を学ぶことが出来た。帰国したら、自分の道場で新しい指導方法を広めたいと思う。そして、2020年の東京オリンピックに出場する選手を育て、また日本に来たいと思っている」と話しました。

交流会の最後には、研修生たちが「柔道一直線」を合唱するなど、懐かしい歌に盛り上がる場面もありました。

学生ボランティア派遣

アナポリス・ワシントン柔道クラブで柔道指導

2015年10月12日～23日の期間、東海大学大学院体育学研究科修士2年の奥村達郎さんをアメリカ・ワシントン近郊のジョージタウン大学ワシントン柔道クラブ及びアナポリス海軍士官学校に派遣しました。

Tokai University 2nd year Masters Mr. Tatsuro Okumura was sent to Georgetown University judo club in the suburbs of Washington USA and Annapolis Naval Academy between October 12th - 23rd 2015.

東海大学大学院体育学研究科修士2年の奥村達郎さんからの報告です

ジョージタウン大学ワシントン柔道クラブは、老若男女問わず多くの人が参加していました。道場は、マットを敷いており、試合場が2面取れる程の広さでした。初めの指導では戸惑うことも多かったのですが、スーザン古森さんにアドバイスをいただき、わからない言葉、わかりやすい伝え方をカードにすることで、指導することが出来ました。柔道クラブでは、準備運動、回転運動、内股、寝技、ネルソン、横返、立ち技、脳しんとう予防などについて指導をしました。最後の練習では、皆が最初と比べ見違えるほど上達し、自分が教えた事を吸収していることが目に見えて分かったので嬉しく思いました。また、柔道部からジャージと本のプレゼントをいただき嬉しかったです。

海軍士官学校は、中くらいの道場と廊下を挟んで小さな道場が2つありました。体操までは皆が一緒に行いますが、乱取りに入ると初心者には小さな道場に移動していました。海軍士官学校では、体操、回転運動、打ち込み、投げ込み等を指導させていただきました。他には、初心者が多いということでルール説明、組み方、姿勢、練習に対する意識などを日本人教官の田村さんの手助けをいただきながらですが、伝えられたと思います。6人掛けを披露した時には、男子選手を内股で投げると学生から「Beautiful!!!」と言う声が上がって嬉しかったです。

休日には、ワシントン柔道クラブの川野さん(日本大使館)のご家族に、ジョージ・ワシントン初代大統領の家があるマウント・バーナーを案内していただきました。山と川に囲まれて、美しい風景を見ることができました。スーザンさん宅でホームパーティーが行われた際には、海軍士官学校の村越さん、田村さん夫婦、柔道クラブの先生など10人を超える方々が参加して下さい、英語と日本語が飛び交う中、政治から柔道まで幅広い議論を交わす事が出来ました。

ワシントンで大変お世話になった、古森さん、スーザンさん、テッドさん、このような機会を与えて下さった、柔道教育ソリダリティーの皆さま、山下先生、光本さん、小澤さんに感謝の気持ちがいっぱいです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



ワシントン柔道クラブでの指導の様子



海軍士官学校柔道クラブのジミー・タケモリ氏と

海外柔道普及支援事業

ロシア・ウラジオストクで日露交流

2015年9月15日～23日、山下理事長、浅井信幸ロシア交流担当をウラジオストクの極東連邦大学に派遣しました。この事業は日本たばこ産業株式会社(JT)と共催しています。

Between September 15th and 23rd 2015 President Yamashita and Nobuyuki Asai, responsible for exchange with Russia, visited Vladivostok Far Eastern Federal University to promote Japanese culture in Vladivostok. The visit was sponsored by Japan Tobacco.



極東連邦大学で柔道について話しました



オリンピエツ体育館での柔道指導

浅井信幸ロシア交流担当からの報告です

昨年のサント・ペテルブルグでの日本文化交流に続き、2015年も柔道を通じた日露交流(講演会・柔道教室)をJTと共催しました。講演に先立ち、極東連邦大学のクリロフ副学長と面談しました。山下理事長は東海大学副学長として、「日露が様々な分野で協力していくことは、両国間の友好関係の発展や世界平和に通じる。是非、東海大学と極東連邦大学がその先駆けになりたい」と話しました。

講演は会場がほぼ満席の状態で見えがき出るほどでした。山下理事長が幼少から柔道に勤しみ、柔道によって成長したこと。柔道を通じた日露交流をプーチン大統領との友情を交えながら語られました。そして、若者たちに夢を持つことの大切さ、夢は力を与え、夢をあきらめず持ち続けることが大切と話しました。1980年のモスクワオリンピックボイコットに質問が及び「スポーツに政治は影響するかと？」と問われた山下理事長は、「政治はスポーツだけではなくあらゆる分野に影響する。政治はもっとスポーツの価値を理解するべきだ」と答えました。

午後からは、在ウラジオストク日本国領事館、沿海地方柔道連盟のご協力の下、オリンピエツの小道場で子供から大人まで約50人を対象に柔道教室を開催しました。山下理事長は、大外刈、大内刈を披露し、参加者は、目を輝かせ一言も漏らすまいと真剣に聞き入っていました。質問コーナーでは絞技を教えてほしいとリクエストがありましたが、時間の都合のため次回のお楽しみとなりました。

タイトなスケジュールの中、日本とウラジオストク間での様々な協力におけるポテンシャルを改めて感じる出張となりました。2017年は世界で初めて柔道の国際親善大会がウラジオストクの地で行われてから100年になります。何か新たな予感がします。この度、ウラジオストクでの日露交流を支援して下さいました全ての方に、本法人を支援して下さいっている全ての方々に心より感謝申し上げます。

留学生柔道体験

留学生柔道体験教室を開催！

2015年7月14日及び7月29日、留学生及びJICA研修生を対象に柔道体験教室を開催しました。

On July 14th and July 29th a judo trial class was organized for students and JICA trainees.

2015年7月14日、JICA日系人研修生として来日した12名(ベネズエラ、ドミニカ、アルゼンチン、パラグアイ、ペルー、コロンビア、ブラジル、ボリビア)を対象に、柔道体験教室を開催しました。7月29日、日本の科学技術や日本文化を学ぶことを目的としたTokai Cool Japan Technology 2015が東海大学で開催され、これに参加した留学生を対象に柔道体験教室を開催しました。エクアドル、インドネシア、マレーシア、タイ、台湾、韓国、アメリカ、香港の留学生計21名が参加しました。



光本事務局長が本法人の活動を説明



光本国際担当師範による柔道体験教室

松本由紀
(ボリビア)

日本がどれだけ他の国のことを気遣っているか分かったような気がします。リサイクルした柔道衣を外国に送ったり、外国の方が日本でコーチとして研修したり、様々な方法で柔道を広げようとしていることを知ってとても嬉しく思いました。

銭景
(台湾)

柔道はとても面白いと思います。日本の礼だけではなく技もたくさん学びました。人体の力を利用してケガを防ぐことも新鮮と思います。そして、日本人はとても親切だと思います。中国では柔道を学ぶチャンスがありませんが、また柔道を楽しみたいです。

和田奈々恵・フロレンシア・ソフィア
(アルゼンチン)

柔道衣を着て、柔道の授業に参加しました。最初と最後の挨拶や受け身を教わりました。私は柔道をした事がないので、いい経験になりました。その後、柔道の歴史と柔道の価値についての授業を光本恵子先生から受けました。イスラエルとパレスチナの合同事業の事も話してくれました。「同じ道場で汗を流すことで友情が生まれる」という気持ちで活動していることに感動しました。

外国からの指導者・選手受入れ支援事業

9カ国のコーチが参加！コーチングセミナー2015

2015年11月8日～12月7日、柔道発展途上国の若手コーチ9名を受入れ、コーチングセミナー2015を開催しました。
昨年に引き続き、光本健次国際担当師範が中心となり、指導を行いました。

来日後の東京滞在中に、講道館や全日本柔道連盟を見学しました。東海大学では、光本師範による柔道クラスその他、山下理事長、中西英敏教授、上水研一朗准教授の授業にも参加しました。日本文化大学の濱名智男専任講師を招いて形の指導、笹木春光講師による剣道、花岡美智子講師によるテーピング、石田智子講師によるスポーツマッサージ、今村貴幸医学博士によるリハビリテーション、宮崎誠司教授による柔道の障害予防、竹内真先生による足技、原田渡居合道部監督による居合道などの研修を行いました。また、大磯町の濱名道場、横浜市神奈川区の朝飛道場、東京都練馬区の貫井中学校、東京都世田谷区の東京都立青鳥特別支援学校、神奈川県横須賀市の横須賀学院にて少年柔道の指導を学びました。日本の柔道大会として、中郡柔道研修大会、柔道グランドスラム東京、望星旗少年武道大会、塾友杯少年柔道大会を視察しました。協力して下さった皆さまに感謝申し上げます。

11月9日 講道館・全日本柔道連盟 訪問



講道館や講道館柔道発祥の地「永昌寺」を見学、全日本柔道連盟では、国際課の蒲原氏による国際審判法の講習を受ける。



11月10日 ガイダンス



今回のコーチングセミナーについて目的や予定、東海大学の施設利用に関するガイダンスを実施。ガイダンスの最後に、本法人より柔道衣を贈呈。



11月11日 貫井中学校 訪問



東京都練馬区の貫井中学校を訪問。高橋健司教諭のご協力の下、授業の見学、茶道部見学、柔道部の練習などに参加。



11月12日 柔道クラス初日



光本国際担当師範による初めての柔道クラス。毎日行われた練習やコーチングセミナーは光本師範がコーディネートしました。



11月13日～14日 濱名先生による「形」



世界形選手権大会チャンピオンの濱名智男先生をお招きし、形の授業を開催。



11月15日 濱名道場 訪問



神奈川県大磯町の濱名道場を見学。健常者と障がい者が一緒に柔道を行う環境を視察し、一緒に汗を流しました。



11月16日 柔道特別実習クラス



東海大学中西英敏教授、上水研一朗准教授、山下理事長の柔道特別実習授業に参加。中西教授より、別の日に審判法を講習。



11月17日 剣道体験



東海大学体育学部武道学科の笠木春光講師のご協力の下、剣道を体験。剣道衣を着るだけで30分以上かかりました。



Coaching Seminar 2015

A coaching seminar for 9 young coaches from Judo developing countries was held from November 8th to December 12th 2015.

11月18日 テーピングクラス



東海大学体育学部競技スポーツ科の花岡美智子講師に、テーピング方法を学びました。

11月19日 朝飛道場 訪問



神奈川県横浜市の朝飛道場を見学。朝飛大先生のご協力の下、初心者指導を研修しました。

11月20日 スポーツマッサージ



東海大学体育学部競技スポーツ科の石田智子講師から、スポーツマッサージの方法を教わりました。

11月21日 リハビリテーション



常葉大学保育学部保育学科の今村貴幸医学博士からリハビリテーションの実際を学びました。

11月23日 初心者への柔道指導方法・傷害予防方法



光本師範による柔道初心者への指導方法の研修。午後には傷害予防について東海大学体育学部宮崎誠司教授の講習を受けました。

11月24日 足技指導・柔道クラス最終日



東海大学スポーツ教育センタースポーツ課の竹内真先生による足技指導。光本師範による最後の柔道指導。

11月26日 居合道体験



東海大学居合道部の原田渡監督のご協力の下、居合道を体験。最後に大根切りに挑戦。

11月27～28日 広島・京都 研修旅行



広島は原爆ドーム、厳島神社を見学。京都では、高専柔道発祥の地「武徳殿」等を見学。

11月30日 会員・サポーターの集いで修了式



「会員・サポーターの集い」でそれぞれの研修成果について報告。修了式で、修了証書と柔道教材を贈呈。

12月3日～5日 グランドスラム東京大会視察



東京都渋谷区で行われた柔道グランドスラム東京大会を視察。ご支援いただいているミズノ(株)、早川繊維工業(株)の皆さんと。

外国からの指導者・選手受入れ支援事業

コーチングセミナー2015 研修生からの報告

光本健次国際担当師範からの報告です

2015年11月7日～12月7日、東海大学湘南キャンパスでコーチングセミナー2015を開催しました。セミナーは日本のコーチを含め、5大陸から9名の指導者を受入れました。このセミナーは東海大学の支援もいただき、コーチに必要なテーピング(花岡美智子先生)、スポーツマッサージ(石田智子先生)、リハビリテーション(常葉大学・今村貴幸先生)など、体育関係の先生方より直接指導をしていただきました。

また、日本文化の体験として、剣道(笹木春光先生)や居合道(原田渡さん)にも取り組み、日本大学相撲部(石前辰徳コーチ)の練習なども見せていただきました。柔道の研修では、少年指導、初心者指導、ジュニア強化指導など、楽しく安全にできる指導法を中心に研修しました。形の研修では世界チャンピオンの濱名智男先生(日本文化大学)にご指導いただき、形の重要性も理解できたものと考えています。研修の中盤には広島・京都の観光など、大変楽しい時間も作ってもらい、事務局の光本恵子さん、小澤浩子さんに大変お世話になり感謝しています。その他に、永昌寺、講道館資料室、東京都練馬区立貫井中学校訪問、横浜市の朝飛道場、大磯町の濱名道場、中郡柔道研修大会、横須賀学園女子柔道部、東京都立青島特別支援学校、味の素ナショナルトレーニングセンター、柔道グランドスラム東京、東海大学望星旗少年武道大会、塾友杯少年柔道大会など、多方面に渡り、視察及び研修をさせていただきました。そして、早川繊維工業(株)、ミズノ(株)様からもご支援・ご協力をいただきました。皆様にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

東海大学湘南キャンパスで実施したコーチングセミナーも無事に終了し、研修生たちは家族や友人、恋人が待っているそれぞれ自分の国へ帰路に立ちました。このセミナーが2020年、東京で開催されるオリンピック・パラリンピックに続いてくれることを期待しています。



モウ・サレー・アルモウ
Mouh Saleh Almouh

アラブ首長国連邦(シリア)
UAE (Syria)



コーチングセミナーを通して、柔道技術と指導方法のみならず、日本の文化や生活スタイルを知り、体験することができたことに感謝しています。日本は、行くところ、見るもの全てが美しいものばかりでした。この1カ月間で、良い選手を育てるためには、年齢とレベルに合わせた指導法が必要だと学ぶことが出来ました。光本健次先生を始め、恵子さん、そして私を助けていただいた人やこのような場を設けていただいた方々に感謝しています。



ラムィ・S. M・カラバニ
Rami S.M. Kalabani

パレスチナ
Palestine



このコーチングセミナーは、明確でハイクオリティでとても素晴らしいものとなりました。私自身、今回のコーチングセミナーに参加し、楽しむことが出来、とても幸せです。私は、全ての関係者の方々、特に光本先生、全てを共にし情報を共有したコーチの皆さんに対して感謝したいと思います。



ナフム・ザドク・ザヒ
Nahum Zadok Tzahy

イスラエル
Israel



私はこのセミナーに参加して大変素晴らしい時間を過ごしました。日本や関係したすべての皆さんに心から感謝いたします。私はあなたたちの家族になった気分です。私は柔道を始めて31年になります。しかし、このコーチングセミナーを受け、初心に戻りました。これから自分の国で、柔道と柔道教育を伝えていきます。私のために時間を割いてお世話していただいた方々に感謝の気持ちを込めて、私は頑張ります。とても寂しいですが、私は遠い国に帰ります。しかし、皆は私の心の中にいます。最後に、皆の幸運を願い、次はイスラエルでお会いできることを願っています。すべての方に感謝申し上げます。



アンドレス・サンチョ・バランテス
Andres Sancho Barrantes

コスタリカ
Costa Rica



今回、私はコーチングセミナーで沢山のことを学びました。勿論、このセミナーでは柔道を沢山学ぶことが出来ましたが、それ以上に、人生に必要な日本人の心と文化を学ぶことが出来ました。これから、この経験を自国の皆に伝えていきたいと思います。そして、私はこの経験を活かし、子供を中心に柔道指導をしていきたいと思っています。

Coaching Seminar 2015



ワン・レイ(石磊)

Wan Lei

中国

China



私は日本での研修で、光本先生の指導方法を学んだだけではなく、より多くの柔道の精神修練を体験することが出来ました。優秀な指導者は優秀な選手を育てるだけではなく、柔道の修練を通して正しい人生観を磨き、精神面を強くすることが大きな責任であると考えます。

柔道がなぜ精神修練なのかと言えば、練習の過程で自分を改め、自己反省をし、自分を成長させるからです。まさに投げ込みの練習と同じです。両手で一つの技を完成させ、絶えず練習を続けた後、両手は沢山の問題を解決することが出来るようになるのを発見しました。動作を行う前は両手を使い、動作が完成した後、相手を守り助けることが出来ます。

友情を尊重する。遠慮深く、心を落ち着かせる。強弱は見かけで判断出来ない。これは私が今回の研修を通して学んだ柔道の精神です。光本先生のご指導と皆さまのご支援に心より感謝を申し上げます。



モトラモラゴ・キングスレー・セゴコトロ

Montlamorago Kingsley Segokotlo

ボツワナ

Bostwana



私はこのセミナーで、沢山のコーチングに関することを学ぶことが出来ました。日本の指導者がチャンピオンを育てる際、ハイレベルな指導ではなく基礎から少しずつ教えていて、とても辛抱強いことが印象に残りました。日本人は一つ一つ階段を上がっていくが、後から良い結果が付いてくる。なぜなら、選手が一つ一つ階段を上ることにより柔道の基本を理解するからです。もう一つ、日本のコーチと選手は時間通りに練習を行います、それがとても大事だと感じました。



ネマニ・カブル・タカヤワ

Nemani Kavuru Takayawa

フィジー

Fuji



このコーチングセミナーが始まる前、私は参加する予定ではありませんでした。しかし、柔道教育ソリダリティーにより招待されました。とても感謝しています。この1カ月間は、皆の歩く速さと同じくらいとても早く感じました。私たちは、投げの形・寝技・体捌きなど沢山のことを学ぶことが出来ました。柔道の他にも、剣道と居合道を経験することが出来、居合道では実際に大根を切ることが出来ました。私たちはコーチングセミナーと柔道を通して、お互いの国を行き来出来る、良き友を作ることができました。自分に世界が近づいたような気がします。今回、このような指導に関する技術や知識を与えていただき、ありがとうございました。最後のスピーチでも言いましたが、これはさよならではありません。また会いましょう。最後に、光本先生、恵子さん、浩子さん、陽子さん、そして、全ての先生方、生徒、ボランティアの皆さんに敬意を示します。感謝申し上げます。



ゾウ・リン

Zaw Lwin

ミャンマー

Myanmar



このセミナーは、大変上手くまとまっていたと思います。私にとってすべてのレッスンが楽しくなりました。その中でも、子どもから大人まで年齢や各レベルに対して、どのように柔道指導を行うかについて学んだ柔道クラスはもっとも面白く、興味深かったです。他にも、柔道だけではなく、京都や広島に行き日本の歴史を学ぶことが出来ました。



原口 直也

Naoya Haraguchi

日本

Japan



2015年11月7日～12月7日まで柔道教育ソリダリティーのコーチングセミナー2015へ参加させていただきました。このセミナーは、私の他に8カ国から8人の指導者が集まり、9カ国9人の指導者で行われました。今回のセミナーでは、子ども、初心者から大人、アスリートまでの育て方、安全な柔道、基礎体力作りと柔道に関する授業、テーピング、スポーツマッサージ、スポーツマネージメントなど選手へのサポート方法を学びました。時には柔道と離れ、剣道、居合道、茶道など日本の文化に触れることも出来ました。実際に町道場へ視察に行き、子どもへの指導の仕方や接し方などを見ることが出来、大変貴重な体験をさせていただきました。今回、このコーチングセミナーへ参加して、色々な分野から柔道を学ぶことが出来ました。これから、柔道教育を通して友情や平和を培い、柔道の発展を目指していきたいと思います。改めて、柔道教育ソリダリティー、光本先生、ご指導いただいた先生方やサポートしていただいた皆さまに感謝申し上げます。

外国からの指導者・選手受入れ支援事業

パレスチナのサイモン選手を受入れました！

2015年11月1日～12月2日の期間、パレスチナナショナルチームのサイモン・ヤコブ選手を受入れました。サイモン選手は、グランドスラム東京大会に出場するために、東海大学を中心に、国士舘大学などで強化を行いました。

Simon Yacoub from the Paestinian judo team joined the club from November 1st – December 2nd 2015. In order to take part in the Tokyo Grandslam championships he trained intensively at Tokai University and Kokushikan University.



グランドスラムの応援に来たステファニー夫人と



宿泊した友好会館で

私はパレスチナ柔道チームのサイモン・ヤコブです。2015年11月に東海大学に受け入れていただきました。柔道教育ソリダリティーとパレスチナ柔道協会の協力により、とても素晴らしい環境でトレーニングをすることが出来ました。柔道教育ソリダリティーからは、宿泊場所、日々の生活費を支援していただきました。このことにより、私は経済的な心配をすることなく、柔道のトレーニングに励むことが出来ました。

事務局の恵子さんと浩子さんは、私が必要とするものを全て支援して下さいました。全ての柔道コーチ、素晴らしい選手たち、山下先生、佐藤先生、井上先生などに私を紹介して下さいました。それは、私の柔道人生の中で素晴らしい経験となりました。また、新しい柔道衣をいただきました。他にもどんな小さな問題でも、すぐに手助けして下さいました。

宿泊場所の友好会館は、全てが用意され、私は服を洗うこと、料理を作るが出来ました。自分の家の様に感じ、とても素晴らしい環境でした。私の日本での生活は、友好会館で朝ごはんを食べることから始まりました。そして、朝練、山を走るトレーニング、寝技などの練習をしました。午後には、5時から3時間ほど武道館で柔道部の練習に参加しました。この練習は、とても厳しく集中したものでした。私は、世界トップクラス、多くの選手と練習させていただき、とても光栄に思いました。武道館で練習が無い時は、他の場所で練習できるように手配して下さいました。私は、とても柔道の強い国士舘大学でもトレーニングをすることが出来ました。

毎日、多くの方が私のことを気にかけて下さいました。それは、今まで経験したことのないような、とても暖かく優しい心使いに感じました。今は、日本を第二の故郷のように思っています。皆さまに支援していただき、素晴らしい人々にお会いし、心から幸運だと思います。出来ましたら、来年また皆さんにお会いしたいです！ 本当にありがとうございました。

外国からの指導者・選手受入れ支援事業

ガーナのエマニュエル選手を受入れました！

2015年11月15日～12月15日の期間、ガーナ人で現在イギリスで柔道に励んでいるエマニュエル・ナーティー選手を受入れました。エマニュエル選手は、2015年12月4日～6日に行われたグランドスラム東京大会に出場するために日本で強化をはかりました。

Emmanuel Nartey a Ghanaian judoka who resides in the UK joined us from November 15th 2015 for approximately one month.



ガーナ代表としてグランドスラム東京大会に出場

2015年11月15日、今年最後の練習及びグランドスラム東京大会に向けて、私は東海大学に向かいました。今回の来日は、東海大学と柔道教育ソリダリティーの皆さまに支援していただきました。東海大学での練習は、驚くほど素晴らしく、日本のトップレベルの場所で練習が出来ることを光栄に思いました。大学に到着した際には、生活する場所や大学で練習をする環境など全てが用意されていました。

選手を続けていくことは、私の国では厳しいのが現状です。今回、皆さまからの支援が無ければ、日本に来ることは出来なかったでしょう。私は、皆さんから支援を受けたことをとても感謝し、これからも日本で経験したことを生かし、世界の柔道の発展に尽くしたいと思います。

東海大学での練習は、非常に激しく、非常にレベルが高く、私は練習について行くのに必死になりましたが、全ての練習に参加出来ることを嬉しく思いました。そして、毎朝、世界でも最高の設備を備えたジムに通いました。大学の規律は高く、私が今まで見たことのないような柔道家の柔道への尊敬の念を感じました。

私は、同じ時期にコーチングセミナーに参加していた他の国のコーチたちに出会うことが出来たことも幸運だったと思います。私にとって、柔道発展途上国のコーチを対象としたコーチング方法を見ることは、何事にも変えられない貴重なものでした。

私は、優しく素晴らしい人がいる日本に来ることが大好きです。いつも暖かくたくさんのサポートをして下さることに、心から感謝しています。最後になりますが、多大な支援を下さいました柔道教育ソリダリティーの皆さま、本当にありがとうございました。

外国からの指導者・選手受入れ支援事業

日中友好青島柔道館の子どもたちが来日

2015年7月22日～27日の期間、日中友好青島柔道館の子どもたちが宮城県を訪問し、地元の子どもたちと交流しました。

Children from the Japan-China Judo Friendship center came on an exchange visit to Japan where they met with local children in Tochigi from July 22nd – 27th 2015.



練習試合を行った豊里柔道クラブの皆さんと

2015年7月22日～27日の期間、日中友好青島柔道館の子どもたちが来日しました。この来日に合わせ、橋本副理事長が宮城県を訪問し、青島柔道館の徐殿平館長と柔道館運営等の意見交換を行いました。

青島柔道館の子どもたちは、宮城県登米市の豊里柔道クラブの寺澤豊志先生のご協力の下、柔道クラブの皆さんと合同練習や練習試合などを行いました。青島柔道館の子どもたちは2013年より豊里柔道クラブの皆さんがホームステイという形で受け入れています。今年も3日間、ご家庭に宿泊しました。中には、再会を喜ぶ家族もありました。23日には、宮城県石巻市の木村道場を訪問しました。青島柔道館の張墨村(ジャン・モースオン)君は、「今度は、青島に来てほしい！そして、僕の家泊まってほしい」と笑顔で話しました。受入れを支援して下さいました寺澤豊志先生、木村清徳先生、木村吉喜氏、豊里柔道クラブの皆さまにお礼申し上げます。

柔道教室（国内外）

Rusty Kanokogi Memorial 第35回塾友杯少年柔道大会を支援

2015年12月6日、東京都武蔵野市、東海大学望星学塾にてRusty Kanokogi Memorial第35回塾友杯少年柔道大会が開催されました。本法人は塾友杯を2011年より支援しています。



コーチングセミナー2014の研修生コーン氏が
グアムジュニアチームのコーチとして来日

The 35th Rusty Kanokogi Memorial junior judo tournament took place on December 6th 2015 in Tokyo Musashino City at the Bosei-gakujuku.

2015年12月6日に開催された第35回塾友杯少年柔道大会を支援しました。コーチングセミナー2015の研修生らが訪問し、日本の少年柔道大会を学びました。

また、コーチングセミナー2014に参加していたマイケル・コーン氏がグアム柔道連盟代表としてジュニアチームを率いて来日しました。26団体300名が参加し、熱戦が繰り広げられました。開会式では、ラスティ・カノギ賞を畠山瑠唯さん、菊池麻里さん、西澤伸昌先生に、松前柔道塾特別賞を富田若春さんが授与されました。

柔道教室（国内外）

望星学塾「国際親善週間」を支援

2015年7月21日～8月8日の期間、柔道を通じた日本研修「Study Abroad Japan 研修」を開催しました。本法人と望星学塾は、夏と冬の年2回「国際親善週間」を共催しております。

'Study abroad Japan' learning about Japan through judo training was held between July 21st and August 8th 2015. Our organization and Bosei Gakujuku co-host a week of International goodwill twice a year in summer and winter.



研修では、東京や鎌倉を見学しました

国際親善週間の事業の一つ、「Study Abroad Japan 研修」で来日したアメリカ・ハワイのリーワード柔道クラブ、イギリスのハロー・スクールとセント・ポールズ・スクールの生徒と指導者、保護者計48名、松前柔道塾生ら計80名が2015年7月14日、望星学塾にて合同練習を行いました。「国際親善週間」として行っている事業です。国際親善週間のオープニングセレモニーでは、橋本敏明副理事長が英語で開会の挨拶と来訪者たちの紹介を行い、「松前重義先生は柔道を通じて友情を育み、平和な社会を作ろうと考えました。私たちも柔道と一緒に楽しみましょう」と話しました。

ヒカル・アベ オレゴン州ポートランド 央武館柔道クラブ

日本に行くことを決心し最初に頭に浮かんだのは、柔道技術を向上させることができるかでした。その答えはYESでした。それだけではなく、私は日本の歴史と文化も学ぶことができました。日本の皆さんは、とても親切で、良くして下さいました。いつも私が道場に入ると、松前柔道塾の生徒たちが私のところに来て礼をして「Hello!」と言ってくれたので、私はいつも笑顔になれました。研修中、素敵な場所にたくさん行きました。その一つは講道館です。凄かった。嘉納先生の像の前で写真を撮りました。歴史と文化の研修は衝撃的でした。この研修に参加することを支えてくれた方々に感謝いたします。

国際中高生柔道大会

イスラエル・パレスチナ・チェチェンの中学生が来日！

2015年12月21日～27日の期間、イスラエル・パレスチナ・チェチェンの中学生ら計21人を招へいしました。この事業は、公益財団法人東京倶楽部、トヨタ自動車株式会社から支援を受けて実現しました。来日した中学生たちは、2015年12月26日に福岡県宗像市で開催された2015サニックス旗福岡国際中学生柔道大会に出場しました。

A total of 21 students from Israel, Palestine and the Republic of Chechnya, joined us between December 23rd and 27th 2015. The event was made possible thanks to the support of the Tokyo Club Foundation and Toyota Motor Corporation. The students who came took part in the Sanix International Juvenile Judo Team Championships in Munakata Fukuoka.



福岡国際中学生大会に参加した子どもたち



平和記念公園で記念撮影

2015サニックス旗福岡国際中学生柔道大会に出場するために、5年ぶりに、イスラエルとパレスチナから中学生が来日しました。チェチェンについては、山下理事長が2015年9月にチェチェンを訪問した際、カディロフ大統領から直接の要請を受け実現に至りました。今回の受入れは、一般社団法人東京倶楽部、トヨタ自動車株式会社のご支援を受けています。またアディダスジャパン株式会社からは、ロングコートとウェア一式の提供を受けました。

2015年12月21日～23日まで東京に滞在しました。柔道の発祥の地「永昌寺」を訪問し、憧れの講道館にて練習しました。表敬訪問した外務省では人物交流室の品田光彦室長から、外務省の取り組みについての説明を聞きました。同省は、サニックス大会を応援しています。

福岡県宗像市に入ってから、綺麗なクリスマスイルミネーションの中、大会に向けての準備に入りました。練習初日には、朝飛道場の朝飛大先生と、杉本美香さんが技術指導を行いました。試合前日には、長崎の原爆資料館を見学しました。加藤暁子理事が中村明俊館長を紹介してくださり、子どもたちは中村館長から「長崎の原爆、平和の大切さ」を学ぶことが出来ました。

12月26日、2015サニックス旗福岡国際中学生柔道大会が開催されました。日本を含む11カ国130チームがグローバルアリーナに集結し、日ごろの成果を競い合いました。試合結果は、パレスチナチームは初戦敗退でしたが、チェチェンチームが3回戦まで進み、イスラエルチームはベスト16入りしました。

今回招へいした3カ国は、対立と紛争の問題を抱えている地域です。今回の招へいは小さな交流にすぎませんが、彼らの中で変化が生まれるかもしれません。「畳の上では宗教や民族による紛争は存在せず、同じ柔道の仲間」ということを感じて帰国してれたことと思います。今回の招へいでは、多くの方々の支援をいただきました。お世話になった皆さまに感謝申し上げます。

イスラエルチーム Israeli Team



ピヴォウアロフ・オレグ

今回の旅が出来たことを感謝します。皆が仲良く、楽しく過ごすことで沢山のことを学びました。パレスチナチームと一緒に、彼らを理解し、尊重することを学びました。私は、自分たちの国が平和になることを望みます。

ベン・ハロク・セゲヴ

私の日本滞在は、楽しく素晴らしかったです。忘れることが出来ないでしょう。私は講道館に行った時に、講道館のファンになってしまいました。そして、パレスチナやチェチェンの代表チームと友情を育めたことに感激しました。長崎訪問では、第二次世界大戦の考えが変わりました。私は、一般市民が沢山亡くなったのを知ったからです。

パレスチナチーム Palestinian Team



ダッパフ・アナス

この試合や練習を通して、沢山の技術、年上を敬うこと、最後まで諦めない事など、とても良い勉強ができました。また、日本の文化や習慣を学び、日本人は、争わないので幸せを感じました。

アルハジエー・マジド

柔道発祥の地であり、柔道にとって大事な場所である講道館に行くことができ、資料室で昔のことも知ることが出来たのが素晴らしい体験でした。

長崎の原爆資料館では、争いは人として、してはいけないことだと感じ、日本がどのように立ち直ったかを学べました。日本人はとても良い人ばかりで、試合も楽しかったです。

チェチェンチーム Chechen Team



コカリョフ・アントン

2015年のサニックス大会参加とグローバルアリーナ滞在は、本当に楽しかったです。日本の柔道家から、沢山のことを学ぶことが出来ました。彼らの技術、思いやり、マナー、エチケットに、深く感動しました。

エディルギリエフ・バハウッディー

私は日本の他の人を思う心に驚かされました。柔道のレベル、文化も高く、全ての人が素晴らしく、心のこもったもてなしをして下さいました。私は日本に来るまで、この旅が楽しいものになるのか確信が持てていませんでしたが、それが間違いだと気が付きました。サニックス大会の経験は、私の人生の中で一番の思い出になりました！

サニックス旗福岡国際中学生大会に出場しました！

原口直也氏からの報告です



2015年12月22日から28日まで、3カ国のお世話兼通訳役としてサニックス大会へ参加させていただきました。決して国同士では交わることはない3カ国ですので、不安がありましたが、柔道を通して国際交流を楽しんでもらえるように心掛けることにしました。

12月22日に福岡国際空港でパレスチナチームを受入れ、グローバルアリーナへ移動しました。翌日、朝食時に3カ国のチームと初顔合わせをし、朝の練習に参加しました。練習では一生懸命日本の生徒についていこうとする海外チームがいました。

12月24日、長崎の原爆資料館を見学しました。衝撃的なことばかりで、何も言えず立ち尽くすばかり。この時、写真を一枚一枚見ていた3カ国の選手やコーチたちが何を思い、何を感じているのかとても気になりました。

12月25日は、東海大学第五高等学校の生徒が中心となり、立技の乱取を中心に練習しました。午後の練習では、特別講師として大東匡彦選手と杉本美香選手が柔道教室を行いました。

急遽、杉本選手のデモストレーションの受けを引き受けることになりましたが、杉本選手のパフォーマンスが十分に発揮できるように努めました。デモンストレーション後、受けの難しさを痛感している私に「投げやすかったよ」と一言いただき大変嬉しく思いました。

その後、私用のために一日お休みをいただき、練習試合の行われている12月27日の昼過ぎに再合流しました。試合会場では闘志、活気あふれる試合が行われていました。お互いの国を応援するなど柔道を通してフレンドシップが作られているのを感じました。練習試合が終わり、夜はサニックス主催の交流会に参加させていただきました。この交流会では、参加国を中心に様々な催しが行われ、綱引きで大いに盛り上がりました。

1週間、3カ国のお世話をさせていただき、楽しいことや大変なことが沢山ありましたが、最後に皆が笑顔で帰ってくれたので安心しました。この子供たちが大人になった時に、同じように柔道を通して世界平和が広げられることを楽しみにしたいと思います。私自身も今回得られた経験をこれからの人生で活かし、柔道を通して世界と友好関係を深めていきたいと思います。今回お世話になりました関係者の皆さまに感謝申し上げます。

びわこ成蹊スポーツ大学 中原花歩さん



私は、去年のインターンシップ実習でたくさんの方々に大変お世話になりました。今回もまた、大会サポートスタッフとして参加させて頂きましたことを光栄に思います。事前に、3カ国について検索しながら色々調べる中で、お互いの国との関係や事情による様々な問題を知り、3カ国が一つになって行動し、交流することが非常に貴重なことだと思いました。改めて、柔道というものが素晴らしいものだということを違う視点から感じました。国の問題から交流が難しい場合でも、柔道を通して交流することが出来るからです。これは、柔道発祥の地である日本でしかできないことかもしれませんし、柔道を通してでしか実現しないことだと思います。一つの空間で11カ国がお互いの国を尊重しながら、意見を交換し合ったり、楽しさや、面白さを共に分かち合うことは本当に大切だと思います。

そして、母国である日本を素敵で誇らしい国であると感じました。ご飯が美味しいということ、自分のゴミはきちんと捨てること、時間をきちんと守ること、礼儀やマナー、身だしなみをきちんと正すこと。日本では、当たり前のことが、実は当たり前ではないということを他国の選手たちと生活する中で気付くことができました。

最後に、どんなに文化が違っていても、どんなに離れている国でも、みんな同じ人間であるということを感じました。嬉しいこと、楽しいこと、悔しがったりすること、感動する気持ちは同じだと思いました。長崎の原爆資料館へ行った時、3カ国とも興味を持って見ていました。その様子を見て、感じるものも私たちと一緒にのかもしれないと思いました。今回の経験で感じたこと、学んだことは、将来、教員や柔道を教える立場になった時、生徒たちに伝えていこうと思っています。貴重な経験をさせて頂き本当に有難うございました。

東海大学武道学科 花田賢志さん



12月20日～12月28日の間、イスラエル・パレスチナ・チェチェンの3カ国受入れのサポートをさせていただきました。青年海外協力隊で命を落とされた井坪先輩の影響から、東海大学にきている外国人のサポート係として活動する中で、今回の機会をいただくことができました。

大会前に、長崎の原爆資料館を見学しました。私自身、長崎の原爆資料館に来たのは初めてで、言葉も出ないほど戦争の残酷さを感じました。子供たちも日本の悲惨な歴史に触れ、衝撃を受けていました。その後、イスラエルチームが肉料理を食べられないので、野菜中心のレストランに行った時に、宗教という文化の違いを実感しました。平和記念公園見学後に向かったショッピングセンターで、子どもたちは服やおもちゃなど色々なものを買っていました。中身は自分のものではなく、全て国のお母さんや妹へのクリスマスプレゼントだと言っており、中学生で家族に気遣い出来るのは素晴らしい事だと感じました。

サニックス大会では、イスラエルチームのサポートをさせていただきました。「9時試合開始で8時からアップをするよ」と伝えていたのですが、会場に現れず、宿舎に行くと8時半になっても寝ていて、とても驚きました。開会式終了後、オーダーの提出や次の対戦相手の研究などやることが多く大変でしたが、試合で選手たちが頑張っている姿を見て、鳥肌が立ちました。結果はベスト16でしたが、とても良い試合をしてくれて感動しました。試合後、選手や先生たちから「ありがとうございました」と言われ泣きました。感謝の気持ちを言葉に表すのは、世界共通だと思います。

今回の経験で、普段交わることのない国の中学生が、柔道を通して手を取り合えることは素晴らしいことだと思いました。中学生なので生意気で、腹が立つことも多かったのですが、それも文化の違いだと勉強になりました。勝ち負けの柔道よりも、学ぶことができました。このような機会を与えて下さった光本先生、恵子さん、浩子さん、サポート隊の直也先輩、花歩先輩にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。

柔道教室（国内外）

望星学塾「Camp Bosei」を支援

2015年8月22日(土)～26日(水)の期間、カナダ・トロント市において、「柔道を通じて、夢を持って努力することを奨励する」ことを目的とした国際柔道キャンプ「Camp BOSEI - Camp of Dreams - 」を共催しました。

Camp Bosei - 'Camp of Dreams' an international judo camp was held in Ontario Canada with the goal of helping realize their dreams through judo from Saturday, August 22nd to Wednesday 26th.



ミラー氏より記念品を受け取る橋本副理事長



柔道指導を行う山口輝義氏

アネックス柔道アカデミー デイビット・ミラー氏の報告です

自分が20年以上夢見てきたことがついに叶いました。

2015年8月、アネックス柔道アカデミーは5日間の国際柔道キャンプを含む交流事業のため、日本から27名のゲストを受け入れました。この研修には、3カ国、カナダの15クラブ、120名の参加者がありました。

1997年から続く松前柔道塾との交流の中で、望星学塾開塾80年記念の研修地にトロントが選ばれ、キャンプ望星を共催することになったことを大変光栄に思います。多くのゲスト講師に加え、20年前に松前柔道塾で指導した生徒たちが、この研修に参加してくれたことが嬉しかったです。今回はトレーニングキャンプではなく、全ての柔道家が友好を深めることを目的に開催されました。畳の上の講習や合同練習だけでなく、様々な分野の先生方から講話を聞くことができました。トロント市内の散策やナイアガラの滝へのフィールドトリップを通じて、新たな友情も築くことができました。

キャンプ望星は多くの参加者から「またやって欲しい」と声が出ています。私の夢が叶うように導いて下さった橋本先生、山口先生に感謝いたします。

Camp Boseiに参加したアキコ・タカハシさんの感想です

柔道を通じて先生方、生徒たち、家族がそれぞれ繋がることで、このキャンプが実現したことを本当に素晴らしいと思いました。ただ単にスポーツをしているだけでは、このような強い関係はできないと思います。柔道が好きで、柔道の仲間が好きで、新しいことに挑戦する人たち。そんな人たちがこのキャンプに集まっていたと思います。一番の思い出は、写真を撮る時に垣間見た皆の心からの笑顔です。楽しい気持ちが全面に出ていました。皆さんに出会えたこと、キャンプに参加できたこと、私は心から皆さんに感謝を言いたいです。

柔道教室（国内外）

第7回中郡柔道研修大会を支援

2015年11月29日に神奈川県大磯町にて、「第7回中郡柔道研修大会」が開催されました。本法人は、第5回よりこの大会を支援しています。コーチングセミナー2015の研修生たちは、少年柔道大会に研修の一環として参加しました。

The 7th Naka District Judo training event was held in Oiso city Kanagawa on November 29th 2015. Our organization offered more support this time than at the 5th event.



試合の部には、28リーグが参加しました



コーチングセミナーの研修生も見学させていただきました

中郡柔道研修大会実行委員会 濱名三代子氏からの報告です

第7回となります中郡柔道研修大会を2015年11月29日に、神奈川県立二宮高校体育館において無事に開催することができました。今回も柔道教育ソリダリティーの皆さまより支援をしていただき、質の向上に精力を用いることが可能になりましたことを深く感謝いたします。

中郡柔道研修大会は、大会に関わるすべての人が学べる場を目指しております。世界中との交流、知的障がい者のスペシャルオリンピックス、協賛社・地域との交流もあり、皆が真剣に取り組むことで、とてつもない可能性が広がる大会です。

午前中の「研修の部」では、国際武道大学大学院教授で国際柔道連盟エキスパートコーチであられる柏崎克彦先生が「柔道の教育力」をテーマに話されました。柔道をただ単に競技として行うのではなく、生活の中で実践していくことが大切だと説かれ、参加選手並びに指導者、保護者、係員として参加した学生たちにも有意義な研修となりました。

一般町民も自由にご参加いただけるイベントブースは3つを展開しました。「怪我をしない身体づくり(講師:勝俣接骨院 勝俣聡院長)」、「固技のなぞとき(講師:柏崎克彦氏)」、「密から顕 史料で見えるもう一つの術から道へ(講師:講道館 畠山洋平氏)」を説明していただきました。

また、光本健次先生がコーチングセミナー2015で受け入れられている9カ国の柔道コーチを連れて大会視察にお越しくださいました。開会式で、「世界に広まる柔道」を子どもたちに話され、コーチたちにもマイクが渡り、とても身近に感じることができました。

今回も柔道への理解が更に深まる大会となりました。ご支援をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。

実施事業

2016年1月～

柔道教室(国内外)



2016年2月13日～14日、復興支援全国高等学校選抜柔道練成三春大会を支援しました。

We offered support for the Reconstruction Assistance National Senior High School Judo selection Nerinaru Miharu tournament from February 13th-14th 2016.



2016年3月5日～6日、グアムで開催される第1回 Kenji Mitsumoto Cupを支援しました。

We gave our support to the 1st Kenji Mitsumoto Cup held in Guam on March 5th and 6th 2016.

柔道教室(国内外)



2016年7月～8月の期間に開催される望星学塾「国際親善週間」を支援します。

We will be giving our support to the Bosei Gakujuku International Friendship week held in July and August 2016.

外国からの選手受入事業



2016年3月パルスチナ、6月セネガル、8月日中友好青島柔道館より柔道選手を受け入れます

We will be accepting Judo athletes from Palestine in March, Senegal in June and in August from the Japan-China Qingdao Judo Hall.

講演会事業



2016年6月、本法人10周年記念講演会を開催します。

A lecture will be held in June 2016 to celebrate our 10th anniversary.

リサイクル柔道衣・畳支援事業



外務省、SFTプログラム等と協力し、カンボジア、などへ柔道衣を送付しています。また、要請に応じ他地域への送付しています。

We are cooperating with the Ministry for Foreign Affairs SFT program to send Judo-gi to Cambodia. We are also answering requests for donations from other areas.

留学生柔道体験教室



2016年7月東海大学等の留学生を対象に、柔道教室を開催します。

In July we will be holding a judo event aimed at Tokai university exchange students.

外国への指導者派遣事業



2016年3月～4月学生ボランティアをUAE及びカンボジアに派遣する予定です。

We are planning to send volunteer students to the UAE and Cambodia in March and April 2016.

リサイクル柔道衣・畳を募集しています！

洗濯した柔道衣を上下(帯)をセットにして、下記住所にヤマト運輸又は佐川急便でお送り下さい。また、畳をご寄付頂ける団体等がございましたら、事務局0463-58-1211(内線3524、担当:小澤)までご連絡ください。



〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学柔道研究室内
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

Sport For Tomorrow



本法人は、スポーツ・フォー・トゥモローの認定を受けております。

<http://www.sport4tomorrow.jp>

公式Youtubeチャンネルのご案内

本法人の公式Youtubeチャンネルを制作しています。コーピングセミナー2015の活動報告の動画、「ケガ防止」DVDの動画などを見ることが出来ます。是非、ご覧下さい。

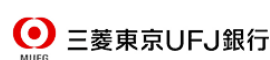
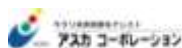
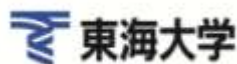
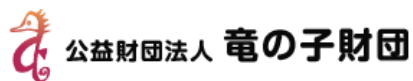


柔道教育ソリダリティー



2015年度 寄付・団体会員一覧

— Supporters —



三井物産(株)、(公財)竜の子財団、(学)東海大学、ミズノ(株)、日本たばこ産業(株)、トヨタ自動車(株)、羽田タートルサービス(株)、サポートセンター(株)、内海晴和企画(株)、秀和ビルメンテナンス(株)、アスカコーポレーション(株)、(一社)東京倶楽部、(株)わくわくコーポレーション、早川繊維工業(株)、(株)豆蔵ホールディングス、(株)神田製作所、(株)東芝、(株)小松製作所、大成建設(株)、三井住友海上火災保険(株)、(株)三菱東京UFJ銀行

Commonwealth Judo Association、(株)アサヒ、(株)アシックス、(株)アットライズ、新井運送(株)、石井化成工業(株)、植木会計事務所、大峰堂薬品工業(株)、(学)加計学園、神奈川県柔道連盟、カネマツ運輸(株)、川中不動産(株)、菅公学生服(株)、九州医療スポーツ専門学校、共和電子(株)、(学)近畿医療学園、京王観光(株)、京王電鉄(株)、(株)廣洋、相模トリアム(株)、(株)三技協、(株)シー・ビー・オー設計、清水建設(株)、(株)鈴鹿蒲鉾本店、(株)成通、セレモアホールディングス(株)、総合警備保障(株)、(株)ダイナミックス・バースンズ東京、(株)築地すし好、東海ウイング(株)、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、東海大学女子柔道部、東海大学付属相模高等学校、(株)東海ビルメンテナンス、(公財)東京コミュニティ財団・ファンドクリエーション基金、(公財)東京都柔道連盟、(医)徳真会グループ、土志田建設(株)、農業生産法人(有)十津川農場、(特非)日本儀礼文化協会、(公社)日本柔道整復会、(株)日本成婚ネット、日本BS放送(株)、(医)白磁会中之島センタービル歯科、(株)博報堂DYメディアパートナーズ、浜友観光(株)、ヒューマンズ・ネット(株)、(株)富士サービス、富士ゼロックス神奈川(株)、北京豊台区悟之道体育倶楽部、(株)ホームインブルーメントひろせ、(株)マツヒロ、(医)松本病院、(有)みのさんファーム、武蔵野市柔道連盟、明光産業(株)、柳田国際法律事務所、横浜市柔道協会、(株)ランクアップ平野屋、(一財)良知活動振興財団、(学)了徳寺学園、(学)了徳寺大学、(株)レイクウッドコーポレーション

(50音順)

個人会員に関しては、ホームページ中の協力者の紹介をご参照下さい。

<http://npj-jks.jp>

	個人	団体
正会員	478	76
寄付	44	42
アドバイザー	37	

入会のご案内

柔道教育ソリダリティーは、2014年1月27日より神奈川県から継続認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。本法人の活動は、皆さまからのご寄付、ご支援によって運営されています。本法人の趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

会員(個人) 一口 5,000円

(団体) 一口 50,000円 ※一口以上から受け付けます

寄付 特に定額はありません

- 郵便振替 口座記号番号:00200-7-37175 加入者名:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー
- 銀行振込 三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953
口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕
トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ
横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726
口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕
トクヒ)ジュウドウキョウイクソリダリティー リジ ヤマシタヤスヒロ